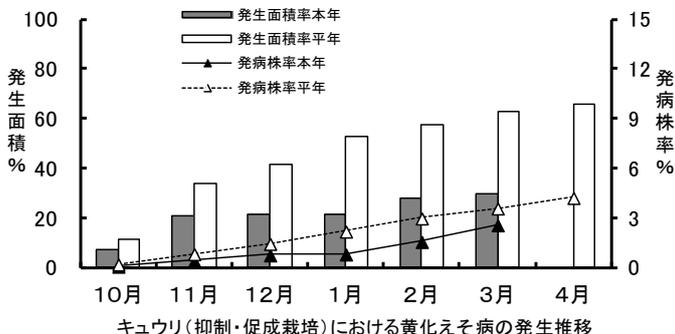


平成27年4月3日

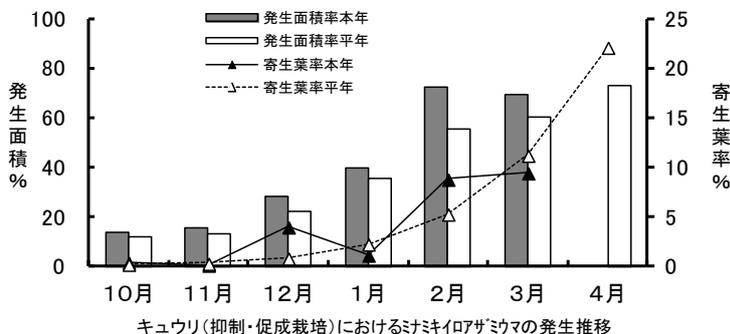
高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号(4月)
野菜類ダイジェスト版

● 抑制・促成キュウリ(中央部・中西部・西部)

黄化えそ病 発生量:少

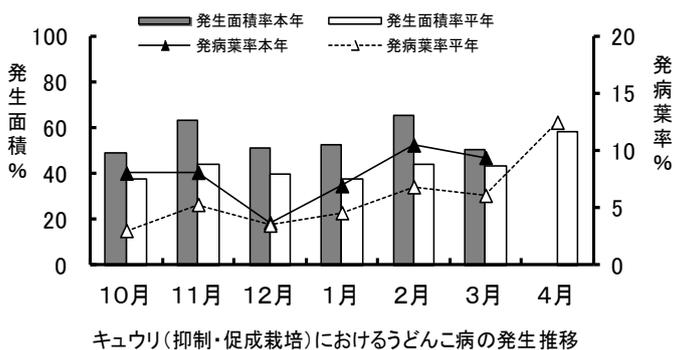


ミナミキイロアザミウマ 発生量:平年並

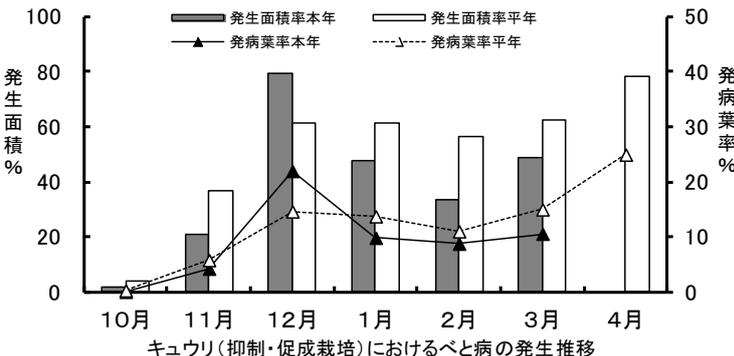


黄化えそ病の発生は各地区とも少発生でした。媒介虫のミナミキイロアザミウマは各地区とも平年並の発生でした。発病株は伝染源となることから早期除去に努め、媒介虫の防除も徹底してください。気温の上昇にともない、特に、天敵を導入していないほ場では虫数の急激な増加が予想されます。ローテーション防除等を行い、虫数の増加を抑えましょう。

うどんこ病 発生量:平年並

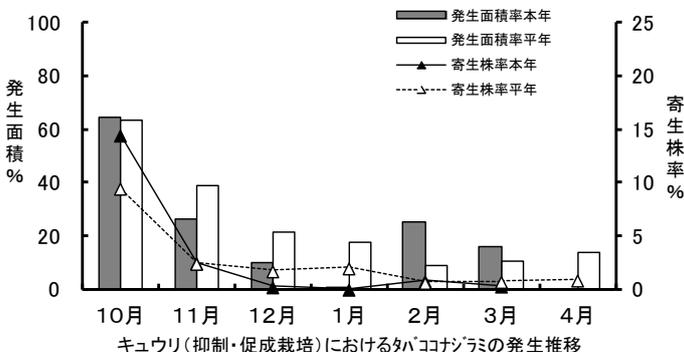


べと病 発生量:やや少

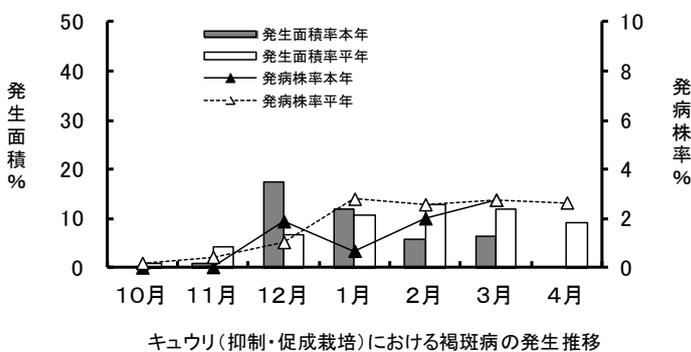


うどんこ病は各地区とも平年並の発生でした。べと病は県全体でやや少～平年並の発生となっています。4月の降水量は多めと予想されているため、べと病の増加に注意してください。うどんこ病、べと病とも、蔓延すると防除が困難となりますので、早めに発見して防除を行うとともに、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。

タバココナジラミ 発生量:やや多



褐斑病 発生量:少



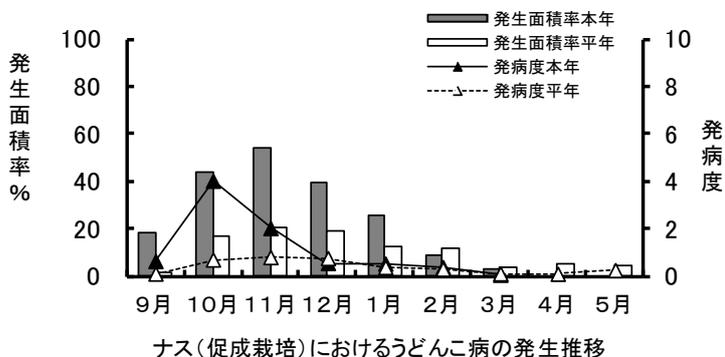
県中央部で多発生、西部で平年並、中西部では少発生とでした。気温上昇にともない虫数の増加が予想されます。薬剤散布回数の少ない場合は春先に急激な増加が見られる場合があるので注意してください。

県中央部と西部では平年並の発生で、中西部は少発生となっています。県全体として発生は多くありませんが、4月は降水量が多い予想で発生に好適な条件ですので、発生の増加に注意してください。

高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号(4月)
野菜類ダイジェスト版 平成27年4月3日

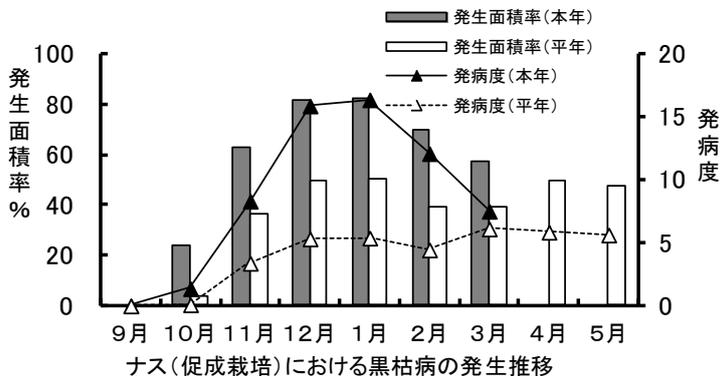
● 促成ナス(東部・中央部・西部)

うどんこ病 発生量: やや少



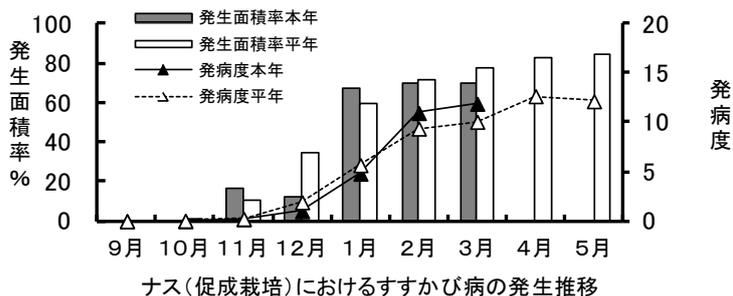
発生面積は県中央部では多発生ですが、県全般ではやや少発生となっています。発生の程度も全般的に高くはなく、下葉に散見される程度の発生がほとんどです。今後も大幅な発生の増加はないと思いますが、温湿度管理、草勢管理を適正に行い、発病を認めた場合には初期から防除を行いましょう。

黒枯病 発生量: やや多



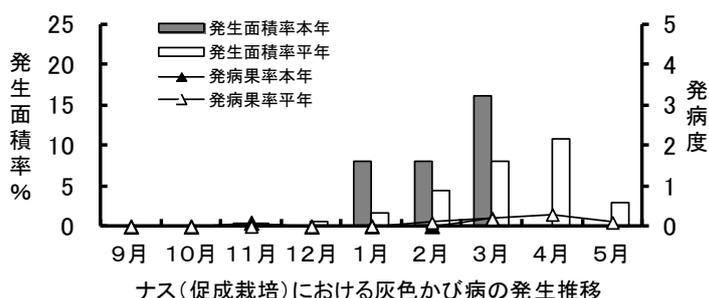
県中央部、西部で多発生、中西部はやや多発生と全般的に多めの発生となっています。いずれの地域でも発生の程度は平年並から高くなっています。4月の気象は雨が多いと予想されるため、注意が必要です。定期的予防散布に努め、発病の初期を見逃さないように注意しましょう。

すすかび病 発生量: 平年並

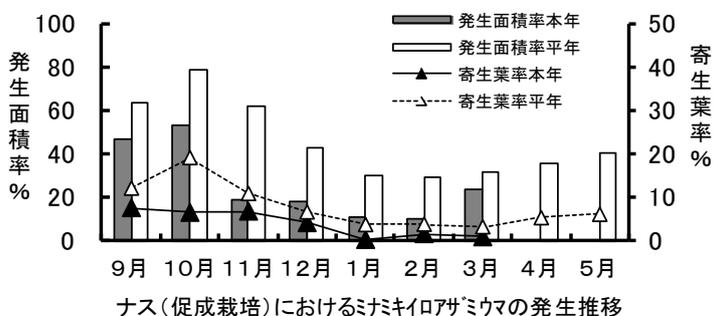


すすかび病は、県中央部でやや多発生、東部と西部では平年並の発生となり、引き続き発生面積は増加傾向で、発病程度の高いほ場も見られます。灰色かび病は、県東部では先月に引き続き発生面積が多発生となっています。4月は雨が多い予報で、両病害ともに病勢が進展すると予想されますので、定期的予防散布に努め、発病の初期を見逃さないように注意しましょう。

灰色かび病 発生量: 多

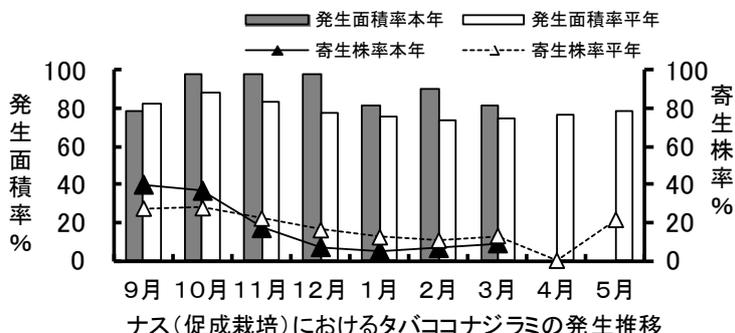


ミナミキイロアザミウマ 発生量: やや少



気温の上昇にともないやや発生面積の増加は見られますが、全般的に低密度で推移しています。天敵の定着・増加により、引き続き少発生のまま推移すると思われそうですが、密度が高くなった場合は、微生物製剤や選択性殺虫剤等での防除が必要になります。

タバコナジラミ 発生量: 平年並

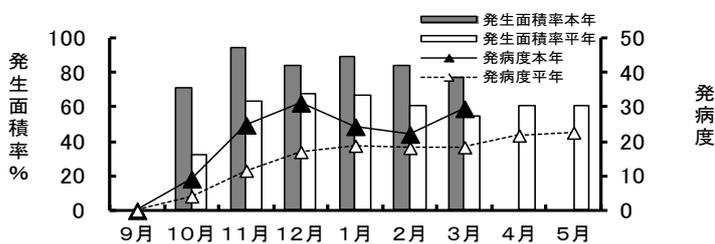


県全体に発生が見られ、発生面積は平年並ですが、発生程度は高くなく、成虫がわずかに見られる程度です。今後天敵導入ほ場では大幅な密度の上昇は見られないとは思いますが、発生状況をよく観察し、初期防除に努めてください。

高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号(4月)
野菜類ダイジェスト版 平成27年4月3日

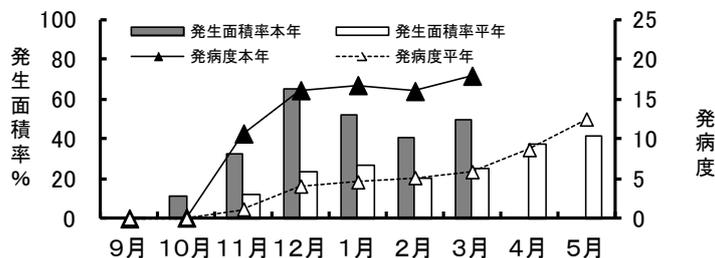
● 促成ピーマン(東部・中央部・中西部)

うどんこ病 発生量: やや多



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

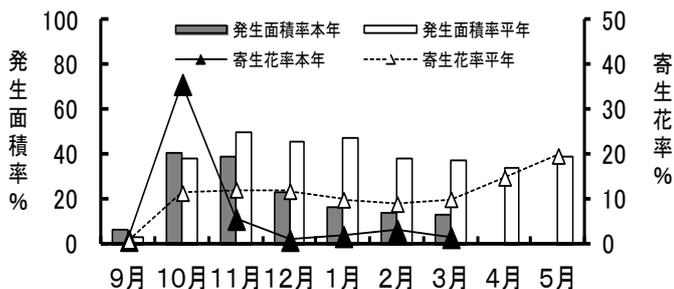
斑点病 発生量: 多



ピーマン・シトウ(促成栽培)における斑点病の発生推移

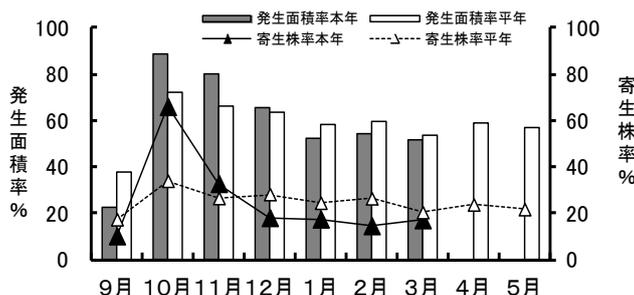
うどんこ病は県東部では平年並、中央部と中西部ではやや多の発生面積となっています。発生程度も平年並～高くなっています。また、斑点病は県中西部では平年並、東部ではやや多、中央部では多の発生面積となっています。また各地区とも発生程度は高くなっています。4月の気象予報では、降水量はやや多くなると予想されていることから、斑点病の発生が助長されると考えられます。両病害とも蔓延すると防除が困難になるので、予防散布及び初期防除に努めてください。

ミナミキイロアザミウマ 発生量: 少



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

タバココナジラミ 発生量: 平年並

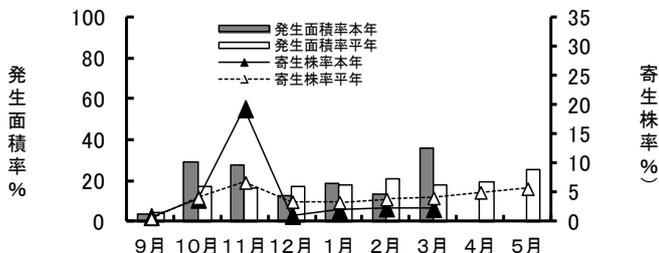


ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるタバココナジラミの発生推移

県中西部のみやや少発生、他は少発生と発生面積は少なく、発生程度も全般に低くなっています。天敵が定着しているほ場では当面問題とならない程度で推移すると思われます。薬剤散布を行う場合には、薬剤のローテーションを行い抵抗性の発達を回避してください。

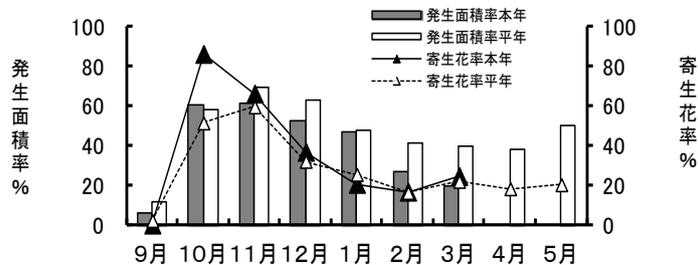
中央部ではやや少、東部はやや多、中西部では多と発生面積にばらつきがあるものの、発生程度の高いほ場はみられません。スワルスキーカブリダニの定着状況にもよりますが、コナジラミの成虫のみが見られる場合には、特に問題とはならず、天敵のエサとなっている程度だと考えられます。

アブラムシ類 発生量: 多



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるアブラムシ類の発生推移

ヒラズハナアザミウマ 発生量: 少



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるヒラズハナアザミウマの発生推移

アブラムシ類は県東部と中央部で発生面積は多となっていますが、発生程度は全般的に低くなっています。ヒラズハナアザミウマは各地区ともやや少～少の発生面積となっていますが、東部では発生程度が高くなっています。気温の上昇にともない急激に害虫が増加する場合がありますので、注意してください。薬剤を散布する場合は各種天敵に影響の少ない農薬を選定しましょう。

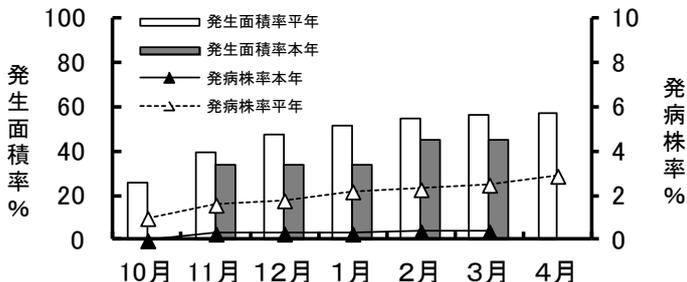
高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号(4月)

野菜類ダイジェスト版

平成27年4月3日

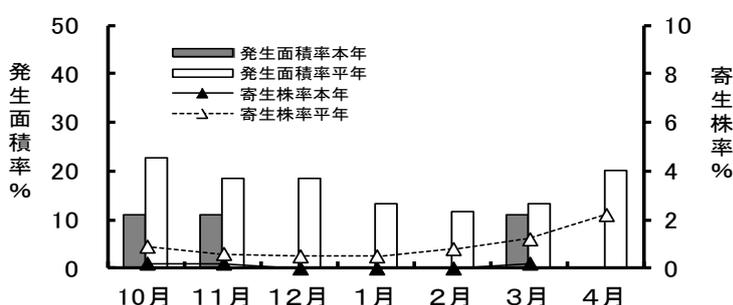
● 促成トマト(中央部)

トマト黄化葉巻病(TYLCV) 発生量: やや少



トマト(促成栽培)における黄化葉巻病の発生推移

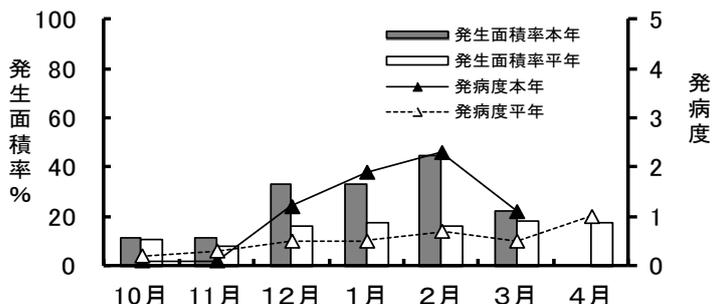
タバコナジラミ 発生量: 平年並



トマト(促成栽培)におけるタバコナジラミの発生推移

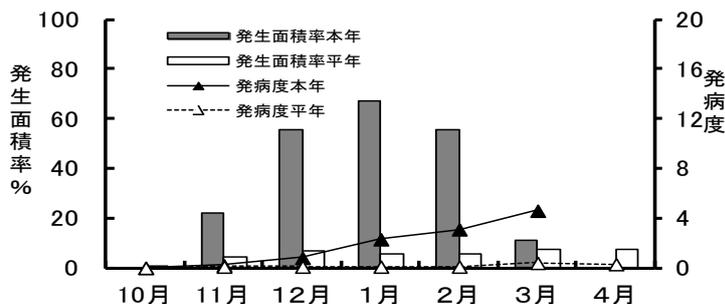
トマト黄化葉巻病の媒介虫であるタバコナジラミの発生面積は平年並となっていますが、程度は低くなっています。トマト黄化葉巻病も発生程度は低く、発生面積もやや少なくなっています。発病株は感染源になりますので可能な限り除去し、タバコナジラミの発生が見られる場合には低密度のうちに防除しましょう。また、併せて粘着資材等による物理的防除も実施しましょう。

すすかび病 発生量: 平年並



トマト(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

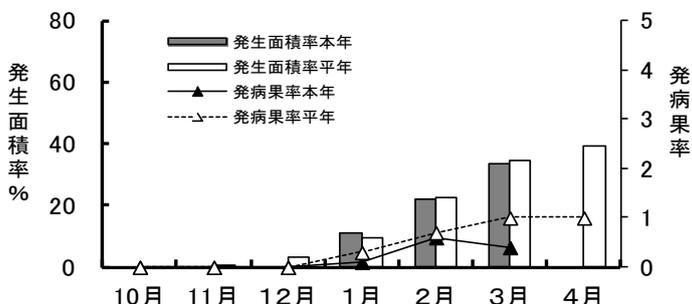
うどんこ病 発生量: 平年並



トマト(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

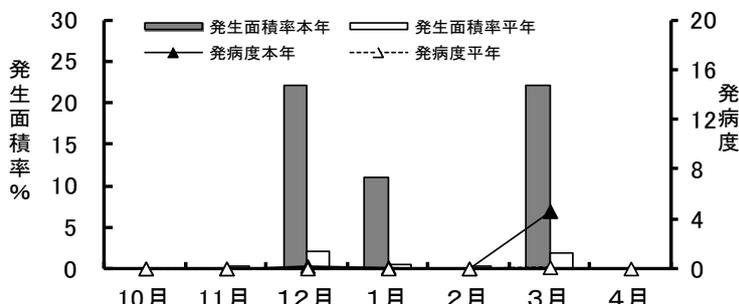
すすかび病、うどんこ病ともに発生面積は平年並まで低下していますが、うどんこ病の発生程度は先月に引き続き高くなっています。4月の気象予報は、降水量が多めと、すすかび病の発生に好適な条件となっているため、すすかび病の増加が懸念されるので注意してください。適切な温湿度管理、草勢管理および防除を行い発生の増加を防止しましょう。また、すすかび病とうどんこ病では防除薬剤が異なるので注意しましょう。

灰色かび病 発生量: 平年並



トマト(促成栽培)における灰色かび病の発生推移

疫病 発生量: 多



トマト(促成栽培)における疫病の発生推移

発生面積は平年並となっていますが、発生程度は全般的に低くなっています。しかし、4月は降水量が多くなる予想ですので、発生が助長されると考えられます。気温が上昇し、加温機の稼動しない日などに発生が増加する恐れがあるので注意してください。

3月は平年に比べ降水量が多かった影響もあり、一部地域では発生が増加しています。サイド際の水滴の落ちる場所で発生しやすい傾向があり、4月も降水量が多くなる予想ですので、発生に注意して、初期防除を心掛けてください。